

② 真珠のアフターケア —自分でできるケア、お店がするべきケア—

真珠のネックレスを永くご使用になるには、時に洗浄、磨き、糸替えをすることが必要です。きちんとしたアフターケアを提供しているかどうか、お店を選ぶ基準のひとつになります。ここでは、ご自分でできるケアと、お店がするべきケアをみてゆきます。

自分でできるケア

真珠は傷つきやすくデリケートな宝石なので、普段自分でできる最良のケアは、拭くことにつきます。ご使用後は、やわらかい布（セーム革やメガネ拭き等）で汗や埃を優しく拭き取ります。



クラスプを外した状態で片方の端を持ち、もう片方の手に持った布でクラスプ付近の珠を包み込み、そ

お店がするべきケア

日々、丁寧に自分でケアをしても、どうしても取りきれない汚れやダメージは、少しずつ真珠にたまってゆきます。なんとなく表面がざらついていませんか？ネックレスの糸に緩みはありませんか？そんな時は、遠慮なくお店のケアを受けてください。洗浄を施し、磨き直し、糸替えが行われた真珠のネックレスは美しくよみがえります。見違えるほどです。ダメージが月日とともに積み重なってしまったネックレスは、元に戻らない

のまま下まで3回。反対側の端に持ち替えて、同じ要領で上から下に3回。慣れたら10秒もかかりません。ケースにしまう前のこの一手間で、真珠と地金の美しさが失われずに長持ちします。それは歯磨きや洗顔と同じで、簡単だけど大切なことです。習慣化すれば面倒にもなりません。保存においては、適度に湿度のある、あまり高温にならない場所が最適です。ジュエリーケースに入れておいて、直射日光があたらない場所なら大丈夫です。一つ気をつける必要があるのは、真珠はダイヤモンドや多くの貴石よりも柔らかいので、他のジュ

もしれません。そうならないためにも、1~2年に一度の定期的なメンテナンスをおすすめします。予防を兼ねた定期的なメンテナンスが、美しい真珠をいつまでも楽しんでいただくポイントです。同時にそのメンテナンスの提供は、販売店の責任です。購入したお店がなくなってしまったとか、プレゼントの品でどこで購入したかが分からない、通販で買ったが販売元が分からないなど、こうしたケアを受けられない状況があるなら、私共がケアを引

エリーと擦れあうとキズがつくことがあります。トラベルケースなどにしまう場合には気をつけてください。また、真珠のネックレスを長期にわたって毎日着け続けるのも、真珠にとってはよくありません。極端な例ですが、以前持ちこまれたプレスレットの修理品は、真珠の肌に触れる部分が擦れたか、汗に含まれる酸で溶けてしまい、俵型に変形していました。数年間、ミサガのように身につけたままにされたとのことでした。ご使用のあとには、優しくその日の汚れを落としてやり、適度な休息を与えてください。

き受けます。遠慮なくお問い合わせください。また、お店のケアを受けるときは、折角の機会ですから、以前仕立てた長さが今もベストマッチしているかどうか、プロの客観的な意見を聞いてみましょう。ほんの2~3粒真珠を足したり抜いたりするだけで、ぐんとイメージが変わります。また留め金（クラスプ）を交換して「見せるクラスプ」や「アレンジの効くネックレス」など、遊び心を加えた仕立て直しをするのも、真珠を日常で使いこなす上級者への一歩です。